

令和4年(2022年)6月17日

竜王町議会議員 貴多 正幸 様

竜王町コンパクトシティ化構想を考える会

呼びかけ人 畑 明郎(山面)

西田 征生(西川)

中江 忠美(信濃)

### 竜王町議会議員への公開質問状について

2月に実施された「新時代のチャレンジ 輝竜の郷づくり懇談会」のまとめはまだ出されていないなか、3月議会で令和4年度の関連予算が議決され、「交流・文教ゾーン」の整備に向けた計画が進められています。

私たちには様々な疑問や心配な事項があります。つきましては、いくつかの項目を質問させていただきます。私たち納税者が行政運営に対する質問ですので、真摯にご回答くださるようお願いいたします。なお、ご回答いただきました内容は「コンパクトシティ化構想を考える会」ニュースで町民のみなさまにお知らせします。

### 記

- 1 公開質問状 別紙のとおり
- 2 回答締め切り 令和4年(2022年)7月15日(金)とします。
- 3 回答先 520-2503 竜王町信濃202  
甲津 義彦 メール ryushi.ko2000@gmail.com

質問事項 公開質問状とします。

① 議会だよりでは「3月例会では10議員が10問の一般質問を行いました」とあります。これは議会運営委員会で「一人一質問」になったと聞いています。コンパクトシティ化構想は中長期にわたる事業です。議長の責任は、十分な質疑時間を確保することと議員の質問権を保障することです。どのようにお考えですか。

② 「交流・文教ゾーン」は、令和3年3月配布のハザードマップで浸水目安が1m～3m未満（200年確率）です（2015年の水防法改正では1m～3m以上となります）。にもかかわらず、町は「1m～2mの浸水を想定し盛り土造成、河川とゾーンの間管理用道路を造成する」と説明しています。浸水想定と対策が矛盾しています。このことについて議会としてどのように審議されましたか。

「竜王町洪水浸水・土砂災害ハザードマップについて」令和3年5月 生活安全課配布 によると  
・浸水深については、日野川の洪水浸水想定区域図（想定最大規模）と滋賀県の「地先の安全度マップ」（200年確率）を重ね合わせ、最大の浸水深を示しております。また、浸水の目安について見直しました。と記されています。

③ 新築移転の概算予算55億円の根拠となる積算見積額と、その内容について議会で十分な審議がされましたか。

建築資材及び諸物価が高騰しています。見積額の変更も必要になると思います。工事の変更に伴う増額があり町民の負担も増えます。また補助金の種類と金額について議会に報告がありましたか。

整備にかかる費用（現時点での見込み）令和3年11月発行

・小学校建設費用（コミュニティーセンター含む）	30.0億円	
・その他施設建設費用（こども園、学童保育所、給食センター）	12.6億円	
・用地取得・造成費用（共有駐車場・公園含む）	7.4億円	
・道路・インフラ整備費用	5.0億円	<b>総整備費用 55.0億円</b>

④ 「交流・文教ゾーン」の事業計画は具体的にどのようになっているのか報告を受けていますか。

令和3年度予算に、コンパクトシティ化構想実現に向けた中心核の整備 ①コンパクトシティ化構想リーディングプロジェクト「交流・文教ゾーン」の整備 3,597万円《拡充》コンパクトシティ化構想に基づく中心核の整備において、先導的事业である「交流・文教ゾーン」の整備について、地元や国、県などの関係者と協議を進めるとともに、事業地造成の基本設計と新設道路の予備設計等に着手します。

⑤ 新築小学校の概要について議会に報告されていますか、お答えください。

令和3年の予算で、竜王小学校の移転新築に向けた準備1,005万円 令和7年4月に開校をめざす竜王小学校を移転新築するための基本計画を策定します。

④⑤はともに議会で議決した予算です。どのように執行されているか議会でチェックが必要です。

⑥ 令和4年度予算は各課10%削減予算とのことですが、どのような理由によるのか説明がありましたか。また各課はどの予算を削減したのか説明がありましたか、お知らせください。

「竜王町は67億円 一般会計過去最大 3月2日開会の定例町議会に提案する」（2022・2・26 京都新聞）

竜王小移転新築を含む「コンパクトシティ化構想」に伴う費用により、一般会計は前年度比12.2%増で過去最大。事業地造成や道路改修の実施設計、用地取得に5億9200万円、竜王小の移転新築準備に2億2千万を計上。

以上